

株式会社スピンドル技研様



ノバン君

Spindle giken

社長の気になる部分！！

- ・ 在留資格でできる作業範囲が不明瞭・・・。
- ・ 日本語の言い回し、ニュアンスが伝わらない
- ・ 自発的にできるよう成長してほしい。
- ・ 立ち位置を理解して頑張ってもらいたい！

お二人だけではなく、外国人材の可能性を感じ実際に彼らの活躍を目の当たりにしたことで、どのように展開できるのかイメージが湧いたようです。海外の日系企業からも日本語・英語・インドネシア語が話せることでスーパーバイザーとして期待されているようです。彼らがいることで海外事業がスムーズに行えるようになった事例ですね。社長の気になる部分も西村先生のサポートで解決したり、新しいニーズに対応できるように考えられるとの事でした。彼らを活かすまさに適材適所でした。

今回訪問させて頂いたスピンドル技研様。彼らの能力に気づき、その能力をどう引き出していくのかを考えた結果が現状の流れができたのではないのでしょうか。単に人財ではなくきちんと役割をもって最大限の能力を発揮してもらうための環境づくり。最初は紹介から始まった外国人材との出会い。きっかけは紹介であっても能力だけではなくコミュニケーション能力も高かったことから社内にも良い循環を起こしてくれたのではないのでしょうか。海外展開についてもっと知りたいと思いました。



ディプタさん

スピンドル技研様に勤めている入社2年目のノバン君と、1年目のディプタさん。エール学園を卒業後、入社され可能性を大いに発揮してくれているお二人。ともに笑顔が可愛いのが印象的でした。ノバン君は日本語はまだまだ発展途上ですが、日本人でも難しい作業をこなすほど手先が器用なようです。インドネシアやフィリピン、シンガポールと展開されているので母国とのやり取りもされるそうです。ノバン君は人柄で採用したと社長がおっしゃる様に物腰穏やかで真面目という印象ですね。またディプタさんもととても勤勉だそうです。わからないことは調べて次の日には理解してくるくらいだそうです。専門用語の覚えも早く英語も堪能ということもあって、海外とのやり取りでは本領を発揮されているようです。日本語・英語・インドネシア語に加えて勤勉でまじめ、日の付け所がない人財ですね。社長も彼らがいることで日本から海外拠点をコントロールする仕組みができるということで高く評価されています。インドネシアの方の能力や性格が合うようで今後もインドネシアの方を採用したいとおっしゃっておられました。彼らの活躍にエール学園西村先生も大変喜んでおられました。今後のさらなる活躍が楽しみです。